

分科会開催報告書

報告日 令和 4年 12月 24日 (土)	報告者 佐藤和広
分科会名 古文書を読む会	開催テーマ 第二学習 吉宗と尾張藩主宗春の角逐◎
開催日時 令和 4年 12月 22日 (木) 午前 10:00 時 ~ 12:00 時	開催場所 金沢公会堂リハーサル室
参加人数 古文書を読む会会員 男 9名 女 3名 合計 12名 (欠席者2名)	
<p>(引き続き賑やかな人の往来を描く) “不二見のうたもこのうたも躍りはいづれまさりやせんか” 答曰く “おほかた五かくに参るべし哉” “角伊の色香と一文字の如月と酒のつよきはいかむ” 答曰く “それは分て申かたし” かくして踊りそめきに賑わいしも、月落鳥鳴くきて明れは朝風に夢は破れてうせにけり。</p> <p>跋 (あとがき) 夢は四夢五夢のわかつて表裏を論じ置たり。是は其数の外にして邯鄲遊山の二枕にも喩へつべし。 人に花咲く歓楽、全篇して後生虚仮、目を覚さむといふ。</p> <p>第7代尾張藩主徳川宗春は『温知政要』を著し、将軍徳川吉宗の緊縮、尚武、法治の享保の改革を批判して対立したため、隠居謹慎を命じられ名古屋城で幽閉生活に入る。死後も墓石に金網がかぶせられるという処分を受けたが、1839年にようやく許され、従二位権大納言が追贈された。 (今回をもって「吉宗と尾張藩主宗春の角逐」は終了)</p>	
次回予定 令和5年1月12日(木) 10:00~12:00 場 所：金沢公会堂第二会議室 テーマ：尾張藩主徳川慶勝	